

同友ぐんま

同友会の活動
はこちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



1

2018年

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

想いを繋ぎ、 人間力を生かして次世代へ!!

2017経営研究集会を開催



十二月二日(土)、ホワイトイン高崎を会場に「二〇一七経営研究集会」が開催されました。会の内外から約一五〇名が集い「想いを繋ぎ、人間力を生かして次世代へ!!」のスローガンのもと、熱気溢れる大会となりました。

基調講演の講師には、板金加工業(医療機器・医療タンク・工作機カバー・部品・制御盤・工場設備・厨房用設備等)、メタルアクセサリ・メタルインテリアの製造販売を行う(株)山崎製作所、代表取締役・山崎かお

り氏(静岡同友会)を迎え、「二代目板金屋女社長の覚悟と挑戦」(町工場の技術と女性の感性から生まれた自社ブランド)と題して、事業承継から今日までの経営実践、自社ブランドの立ち上げや、そこにかける想いを話していただきました。

経営にも板金にも興味なかったという入社当時。父である創業社長はワンマンで、後継者の育成と事業承継ができず、残されたのは山崎氏と職人たち。「どうにかしなければ…」との思いから同友会に入会し

「経営指針を創る会」を受講。それまで分からなかった経営者の苦悩や先輩会員の経営姿勢に触れる中で、覚悟を決めて事業を引き継ぎます。

社長就任以前からリーマンショックなどの経営危機を経験してきた山崎氏は、景気に左右されない経営を模索。「良いものをつくり認めてもらえる仕事があった」と、熟練の板金技術に女性目線を融合し、自社ブランド



を立ち上げます。

職人の高い技術力と女性の感性、商品開発や広報活動など、様々な視点からブランディング戦略を語る山崎氏の言葉は、参加者の胸に深く刻まれたに違いありません。

基調講演後のグループ討論では、「あなたの企業経営にとって大切なものは」のテーマで意見交換。自社の課題や展望、経営者としての考え方をそれぞれが交流し、明日へのヒントを持ち帰りました。

参加者アンケートには「理念や企業ブランドには想いの強さが重要」「オンラインワンのモノづくりをする勇氣と決断力は素晴らしい」「戦略のための分析力、行動に移す人間力、さらに発信力が必要」などの感想が寄せられていました。

跡取り物語シリーズ⑬

高崎支部・青年部会合同例会



十一月二十四日(金)、高崎市総合福祉センターを会場に「高崎支部・青年部会合同例会／跡取り物語シリーズ⑬」を開催。アルミ加工・マシンング加工などを手掛ける(有)エー・ピー・エム、専務取締役・布施浩二氏(太田支部)が報告者を務め、「事業承継まで後一年、準備は万全!?」とろくでなしが経営者として成長する話」をテーマに、自身の経営体験を語りました。

跡取り物語シリーズは、事業承継や後継者の悩み・課題などの交流を目的に、平成十八年からスタートした高崎支部の名称例会。島山氏が報告した第一回から昨年の宮崎氏まで、過去十二回にわたり県内各支部で活躍する会員を報告者に学び合ってきました。今回も昨年に続いて青年部会との合同例会として企画され、約四〇名の参加者が集まりました。

布施氏は「本当にろくでなしだった」と語る大学生時代のエピソードと対比するように、時を同じくして起こっていた同社の波瀾に満ちた船出や過酷な状況、社長(父)の大変な苦勞などを説明。大学を中退して行くあてもなく入社した際の心境を「何とか父の力になって借りを少しでも返したい、とにかく申し訳ない気持ちで一杯だった」と振り返りました。

入社後すぐに参加した太田青年部については「諸先輩から後継者・経営者に必要な様々なことを学ばせてもらった。何よりも仲間・ライバルがたくさんできたのが大きい」と感謝の言葉を口にする布施氏。また、事業



承継の準備を兼ねた「経営指針をつくる会」への参加では「創業の思いをインタビュする事前課題があり、その思いに基づく経営理念の検討を通して、父が立ち上げた会社を必ず守る」という決意がより強固になった」と語りました。

最後に「一年前倒しで来年一月から社長に就任します(笑)。これからもご指導ご鞭撻をお願いしたい」とのサプライズな発表があり、参加者は盛大な拍手で祝福しました。

報告終了後は「創業精神と経営理念」を中心テーマにグループ討論を実施。「立派な創業精神はいらない。創業者の思いをいかに引き継ぐかが大事」「理念があっても飯は食えないが、理念がなくては会社は続かない」「後継者の成長は継がせる側にとって何よりも嬉しい」など、様々な視点から活発な意見が出されていました。

なぜ人材不足なのですか?

桐生支部11月例会

桐生プリオパレスを会場に桐生支部十一月例会を開催。派遣事業コンサルタント・各種セミナー講師などの(株)SCOOT、代表取締役・高山和則氏(伊勢崎支部)が報告者を務め、「なぜ人材不足なのですか?」その解決方法を教えます!」をテーマに問題提起を行いました。



高山氏は、完全失業率と有効求人倍率の推移から「今後ますます人手不足の状況は続く。それを承知で企業は対策を打たねばならない」としたうえで、フローチャートを使って採用課題を説明。「求める人材は明確か?」「求職者から見て魅力的な会社か?」「人材育成・評価制度はあるか?」など、課題ごとの解決ポイントを具体的に示しました。また、自身が携わる人材派遣の有効活用を紹介しつつ、「フルタイム社員だけの会社経営は困難な時代。さまざまな働き

方を組み合わせる人材不足を解決していくしかない」と語りました。

参加者アンケートには「良い会社には良い人材が定着する。当たり前のことに気付かされた」「やり甲斐と働き甲斐、正当な評価基準が不可欠である」「求職者から見て魅力的な会社は?自社を客観的に見ることが大切」などの感想が綴られていました。

は困難な時代。さまざまな働き

何を学び、何を実践するのか？

太田支部11月例会

太田支部では、十一月二十二日（水）、蕪川行政センターを会場に、電装品配線・組立、ワイヤーハーネス加工、各種電気機器・機械製品の組立を行う（株）遠藤製作所、代表取締役・遠藤裕之氏（同支部所属）が、「同友会がめっちゃ好きやねん」何を学び、何を実践するのか」と題して、同友会活動で得た学びと実践事例を報告しました。

滋賀県に本社を構え、仕事の関係で群馬県に工場を新設した遠藤氏は、滋賀同友会に所属し、副支部長や理事を務めてきた経歴を持っています。

冒頭で、業務内容と自身のプロフィールを紹介した後、同友会入会の理由を「経営理念をつくるため」経営指針を創る会

が終われば退会するつもりだった」と振り返りました。しかし、創る会が終わると紹介者は「次は運営委員をやってくれ」と、間髪入れずに役を用意。「本音を言えば、他の会社（会員）の世話をしてる場合じゃない。正直深く関わりたくなかった」と言いますが「結局は引き受け、二回目の例会では司会までやらされていた（笑）」と付け加えました。

また、滋賀同友会の支部例会を企画する「例会委員会」は希望者が殺到するほど人気だそうです、その理由を「報告者との打ち合せて会社訪問するなど、例会だけの参加者よりも学ぶ機会が多くとれること」として、印象に残っている会社訪問と、そこで得た学びを社内で実践する様子を紹介しました。

後半では群馬工場新設にも触れて、「知り合いのいない土地でゼロからの立ち上げ。人を集めて軌道に乗せるまでの猶予は五ヶ月間。苦労するのは確実だったが、同友会での学びはピンチを乗り越えるためだった



ず。これ乗り越えれば例会報告のネタになる」と、自分に言い聞かせてきたそうです。

最後に、同友会で学びを共有する参加者に向けて「あなたも良くなれ、私も良くなれ、みんな良くなれ！」とメッセージを送り報告をまとめました。

参加者アンケートには「同友会の魅力と活用方法を再認識できた」「貪欲に学び実践する力がすごい」「学ぶ事の先にある実践が出来るかどうかが分岐点になる」といった感想が綴られていました。

情熱だけで人は動かない

沼田支部11月例会

沼田支部では、十一月二十一日（火）、沼田市中心公民館を会場に沼田支部例会を開催。ソフトウェア開発・販売などを行う（株）プランニング、代表取締役・町田英之氏（前橋支部所属）が「情熱だけで人は動かない」エネルギーを無駄なく推進力に換えるには「沼田Ver」と題して、二〇一七年九月に開催され

た青年経営者全国交流会（第五分科会）での内容をアレンジして、支部例会のプログラムに合わせて報告しました。

経営指針の実践について、自社での具体的な事例を紹介しつつ、業績の推移なども盛り込んだ報告は、参加者の業種に関わらず、経営指針書の必要性和社内での展開をイメージしやすい内容でした。



参加者アンケートには「情熱を社員に伝えるツールが経営指針書だという考えが印象的」「情熱＝熱さだけではない。クールな情熱を感じた」「社員を想う気持ち、社員アンケートに込める姿勢がまさに情熱的」「自社に足りないものに気づくことができた。仕組みづくりから見直したい」といった感想が綴られていました。

むいむいを目指すか?

前橋支部11月例会

前橋支部では十一月十五日(水)、北海亭前橋本店・会議室を会場に、(税)田子会計事務所、副所長・田子宏美氏(同支部所属)が「どこを目指すか?」ツンデレの本音」と題して、経営体験を報告しました。

高校卒業後は名古屋の大学に進学し、そのまま名古屋の大手会計事務所に就職した田子氏は群馬に戻るきっかけとなったのは、当時付き合っていた男性を父に紹介した際に言われた「娘は後継者」という言葉でした。初めて聞いたその言葉の真意を



確かめるべく、期間限定で群馬に戻りますがその期間中に「後継者は自分しかない」と家業を継ぐことを決意します。

後継者として入所してからは事務所改革にも着手しますが、新しい事に抵抗のある古参社員は拒否反応を示し、計画は頓挫。一人で改革を進めようとした事を反省した田子氏は、現状に合わせ少しずつ変化させていく中で「会社の財産である信頼・お客様・社員を守らなければいけない」という責任感が芽生えてきた」と言います。

その後も、採用から教育に係る人事、給与体系の見直し、社員面談や顧問先への訪問に同行するといったコミュニケーション強化、ロゴマーク作成やHPの見直しなど、あらゆる視点で進めてきた改革の内容と成果を説明しました。

報告の最後には、税理士業務がAIに代替される可能性が高い業種である事を紹介したうえで「この流れは変えられないが、会社を成長させる自信はある。しかし、今の事務所では増員す



る広さはない。移転してまで社員を増やし事業を拡大する必要があるのか?どこまで頑張ればいいのか?という現状の悩みを打ち明け、参加者に向けて問題提起を行いました

報告後のグループ討論では「本物の成長とは?」とのテーマで、それぞれが考える企業の成長、個人の成長について意見交換を行いました。

参加者アンケートには「やるべき事と達成する手段が明確で素晴らしい」「税理士業務のアウトソーシングには驚いた」「短析力、実行力は見習いたい」「短期間で目標を達成していく姿が田子さんらしい」といった感想が記されていました。

生き残るための金融機関との付き合い方

伊勢崎支部11月例会

桐生信用金庫、理事長・津久井真澄氏を講師に招き、「生き残るための金融機関との付き合い方」信用金庫のホンネとタテマエ」をテーマにお話しいただきました。前月例会で取り上げた「金融行政の変化」からの続編になります。

津久井氏は、銀行と信金の違い、桐生信金の沿革や各種指標

などの概況紹介に続き、東毛地域の景気動向や人口推計、事業所数推移について説明。中盤からは「取引している金融機関に満足していますか?」「どんな目的で金融機関と取引していますか?」「金融機関が取引したいと思う会社は?」などの問いに回答するスタイルで進行し、信用金庫のホンネ、あるいは津久井氏個人のホンネがざつとばらんに語られました。

講演後は「具体的に中小企業が打つべき対策は何か?」をテーマにグループ討論を実施。「会社の過去・現在・未来を語る経営者にならない」「会社のパートナーとして金融機関を捉えることが大事」「金融機関が取引したい会社は同友会が目指す会社と同じである」など、活発な意見が交わされました。



いきいきと働くために

ココロとカラダを整える

富岡支部十一月例会は、さくらアロマテラピースクール二校を運営する(株)さくらオフィス・浅井明美社長(同支部)が報告しました。

「いきいきと働くためにココロとカラダを整える」脳の活性化でやる気を引き出し、眠った脳を目覚めさせる!」をテーマに、前半はこれまでの経歴や会社の歩みについて、後半は専

門分野であるアロマテラピーについて、実際に香りを嗅いでみてどう感じるかといった体験を交えたレクチャーでした。

もともと大手サロンの店長をつとめていたが、結婚を機に退職。ブランクを経て平成十五年に三十九歳で創業した浅井氏。「二年目は一日も休まず営業し、主婦業もきちんとこなしていま

する情熱とモチベーションの高さに圧倒されっぱなしでした」「浅井さんのエネルギーの源泉は家族であり、深い愛情を感じました。家族の支えと、結果がすべて」という強い意志が会社経営をより良い方向へと導いていると実感しました」などの感想が述べられていました。

一足早い望年会

表情は、決してトレーニングマークの笑顔だけで語れるものではありませんでした。

後半のレクチャーは、日頃から講師をつとめる浅井氏の本業。日常の例会では見ることのない、浅井先生の姿に誰もが驚きながら耳を傾けていました。

参加者からは「日頃の明るさの後ろには、もの凄いい努力があったことがよく分かりました」「浅井さんの引き出しの多さ、仕事に対

浅川吾妻支部は十一月十五日、伊香保温泉・和心の宿オモリ(大森会長、同支部)にて、一足早い望年会を開催しました。

清塚前支部長が進行役を務め、植杉支部長の挨拶に続き、池沢副支部長の音頭で元氣よく乾杯。酒を酌み交わしながら交流を深めました。

中盤からは一人ひとりが今年を振り返りつつ、来年の抱負を語り合いました。

二次会はカラオケもセットされていましたが話題は尽きません。誰一人として歌わず、語ら



いは延々と続きました…。

浅川吾妻支部11月例会



富岡支部11月例会

アルミ精密部品の切削加工メーカー 有限会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL: <http://www.apm-f.com> E-mail: fuse@apm-f.com

SIS 株式会社 エス・アイ・エス

企業の様々な課題をコンピュータシステムで解決!
(自動化、効率化、見える化、高速化)

★システム化事例

生産管理、工程管理、ガントチャート工程管理、在庫管理、原価管理、
調達管理、図面配布管理、計測器貸出管理、販売管理、工事書類一括作
成、耳標管理、安否緊急通報、ルート配達管理、他

ソフトウェア、ハードウェア、ITサポート、ITコンサル、IT環境構築

お気軽にご相談ください。 Tel: 0274-63-0466
〒370-2312 富岡市星田632-1 <http://www.sis-jpn.co.jp/>



人手不足を解消！ 障害者雇用は経営戦略



合同会社ユリア

代表 本多 宏弥 氏（伊勢崎支部所属）

Q & A

▼会社紹介

平成二十六年三月に群馬県の指定を受け、伊勢崎市内で初めての「就労継続支援A型事業」としてスタートしました。精神障害・身体障害・知的障害のある方たちを雇用し、自立した日常生活・社会生活を営めるように働く場の提供を行いながら一般就労を目指すお手伝いをしています。

平成二十九年十一月からは、新たに「就労継続支援B型事業」の指定も受けました。A型を利用するレベルに達していない障害者も受け入れることにより、B型→A型→一般企業という段階を踏んだ支援が可能になっています。

（※A型事業・B型事業の主たる違いは雇用契約の有無）



▼イチオシ

どの業界も人手不足は深刻な課題です。そこで障害者の方たちが企業に直接伺って仕事をする「施設外支援（就労）」を活用するのはいかがでしょうか？ 企業側は人手不足の解消、当社と障害者側は訓練・教育を実習する機会になり、双方にとって多大なメリットがあります。障害者雇用は二の足を踏んでしまうのは「何かあったときにどう対処すれば……」「直接雇用するのは不安で……」などの理由があるからかもしれません。しかし、当社を通して施設外支援から始めれば、そうしたリスクを回避して障害者雇用に取り組みられると思います。もちろん企業側と障害者の意向が合えば直接雇用につながることも可能です。

▼企業からの反応

同友会の会員企業にも施設外支援を受け入れていただいている実績があります。「彼がいないと会社が回らない」「数人しかできない仕事を任せている」など、現在では企業にとって欠かせない人材になっている事例もあります。

企業にとつての障害者雇用は「恵まれない可哀想な人たちを助ける活動」ではありません。慢性的な人手不足のなか、労働市場においてスキルが高くないと思われがちな障害者の方たちを自社の戦力として活用できるのであれば、それは重要な経営戦略の一つになります。

いずれにしても障害者雇用を難しく考えて勝手にハードルを上げる必要はなく、自然体で取り組んでいただくのが理想です。ご不明な点があるようでしたら、まずはお気軽にご相談いただければ幸いです。

障害者雇用を真剣に考える企業が県内各地、全国各地に広がれば、障害者も健常者も関係のない、差別のない共生社会に少しずつ近づいていくと確信しています。ぜひ皆さんも前向きにご検討ください。

▼今後の展望

平成三十年二月中旬から自社生産による「発芽にんにく」の全国販売を手掛ける予定です。コンテナ内の水耕栽培で、営業や納品以外の温度管理や収穫、袋詰めなどは当社で働く障害者



が行います。

障害者一人ひとりに障害特性があり、できる仕事や作業能力、一日の働ける時間も違います。これからの積極的に様々な業種・職種を取り入れ、実際にやらせてみて、何が自分に一番合う仕事なのかに気づいてもらいたいと考えています。そして、すべての障害者に少しでも働く喜びを感じてもらえればと思います。

障害者雇用を真剣に考える企業が県内各地、全国各地に広がれば、障害者も健常者も関係のない、差別のない共生社会に少しずつ近づいていくと確信しています。ぜひ皆さんも前向きにご検討ください。

所在地／伊勢崎市曲沢町 3 8 6
連絡先／TEL0270-75-1676
URL／<https://yuria-public.jimdo.com>

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【利根実高へバーベル贈る】

グリーンリーフ(株)

農業生産法人グリーンリーフ(株) (代表取締役・澤浦彰治氏／沼田支部所属) は21日、群馬銀行の「ぐんぎん地方創生私募債」を活用し、利根実業高に競技用バーベル一式(20万円相当)を贈った。贈呈式には、ウェートリフティング部員や同行の深井彰彦専務らも出席。同部OBという澤浦社長は「一生懸命練習して、いい成績を残してほしい」とあいさつ。横手校長は「これを機に競技力向上、精神力強化へつなげたい」と感謝を述べた。同私募債は、企業が発行した私募債額の0.2%分を、同行が自治体や学校に寄付する仕組み。同社は1億円を発行した。 [11/22付上毛]

【リフォーム協会賞を受賞】

(株)スカワ

住宅リフォームを手掛ける(株)スカワ(代表取締役・須川光一氏／高崎支部所属)は、日本住宅リフォーム産業協会が主催した「ジェルコリフォームコンテスト2017」のビジネスモデル部門で、ジェルコ会長賞を受賞した。同社が提唱し実践するビジネスモデルの「将来性」と「波及性」などが評価された。

同協会ではこれまで「デザイン部門」のみのコンテストを行ってきたが、25回の節目となる今年は新たに「ビジネスモデル部門」を創設した。全国のリフォーム関連業者33社から応募があり、スカワを含む6社が新設部門で受賞。15日に京王プラザホテルで授賞式が行われた。

同コンテストは国土交通省や経済産業省の職員が審査員を務めるなど、国の支援を受け、リフォーム業界での格式や信頼性は高いという。協会ではスカワを「自治体などの後援を得て、定期的に補助金セミナーの開催をはじめ、多面的な情報発信により信用力とブランド力の向上を図っている」と評価している。 [11/30付ぐん経]

【旬のネギ生かした商品販売】

NPO法人Way To The Dream

道の駅おおた(NPO法人Way To The Dream、理事長・長正祐氏／太田支部所属)は、地元産の旬のネギを使用したドレッシングと、10月28日に桐生市で行われた、全国道の駅グルメナンバーワン決定戦「道-1グランプリ」で2位となった「上州もつ煮ほと」の販売を始めた。

ドレッシングはイタリアンレストラン「Misto」(太田市)と共同開発。旬で甘みの強いネギをふんだんに使い、素材の良さを生かした。一方、「上州もつ煮ほと」は、もつ煮とひもかわを掛け合わせたもの。5月頃から東楊軒(太田市)と共同開発し、同店で人気の、もつ煮と、幅の広さが特徴の、ひもかわを使用。ネギも尾島産にこだわった。

秋山摩実駅長は「今後も農家や地域の飲食店などと連携しながら、太田市の魅力をPRしていきたい」と話している。 [12/14付ぐん経]

【健康食 アジアで足場】

(株)プレマ

有機小松菜を生産販売する(株)プレマ(代表取締役・飯野晃子氏／前橋支部所属)と、こんにゃく製品製造販売のアイユー・フーズ(富岡市)が試験的に東南アジアへの輸出販売を始めた。現地で高まる日本食や健康志向のブームを追い風に、海外販路開拓を目指す。

日本政策金融公庫が販路開拓支援として取り組む「トライアル輸出支援事業」を活用。同公庫は本年度、輸出支援強化のため青果物輸出を手掛ける藤生(伊勢崎市)と提携した。プレマとアイユー・フーズの両社は10月、藤生を通じてシンガポールとマレーシアの日系百貨店でそれぞれ販売を始めた。

プレマは有機小松菜と、小松菜を粉末状にした「プレマ有機小松菜びゅうあばうだー」を紹介した。店頭に立ってアピールした飯野社長は「特にばうだーには潜在的なニーズがあり、安全安心でおいしい日本の食は十分通用する」と手応えをつかんだ。

[12/12付上毛]

【会員登録変更】

(株)アクセル(高崎支部所属)では、この度、「所長・井上慎二郎氏」に会員登録を変更しました。

【会員登録変更】

(株)群馬経済新聞社(前橋支部所属)では、この度、「代表取締役社長・小曾根要人氏」に会員登録を変更しました。

【事務所移転】

(有)岩崎テクニカル設計、代表取締役・岩崎健一氏(前橋支部所属)では、この度、下記の通り事務所を移転しました。

〒371-0017 前橋市日吉町4-42-23

部品加工の 株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注ができました。
好評「部品加工のマテハン」

URL: <http://www.kk-matehan.co.jp/>
E-mail: mth@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276(37)4571
FAX 0276(37)4562

安全と安心のトータルソリューション

KB 関東防災工業株式会社

～消防設備と電気設備の設計・施工・保守、消防用品の販売に加え
雷が落ちない本当の避雷針(PDCE)の販売、防災コンサルティングまで～

◆本 社／前橋市高井町一丁目29-7
TEL: 027-251-3535 FAX: 027-251-3540

◇安中営業所／安中市西上磯部1736
TEL: 027-385-5261 FAX: 027-385-5291

第8回 理事会報告

日時 十二月五日(火)

十八時三十分

会場 同友会事務所

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事／山岸、澤浦、田村、提箸、常任理事／吉池、町田、増田、平岩、中澤、小林、植杉、理事／杉崎、遠山、佐藤、丸橋、島山、笠原、金井、事務局／黒岩阿久澤、竹内(役員計十八名)

【議事】

増田政策委員長が議長をつとめ、澤浦代表理事挨拶のもと、第八回理事会開会。

I. 報告連絡事項

1. 支部・部会・委員会報告
各組織代表者より、報告や案内連絡等がありました。

2. その他

①十二月二日(土)に高崎で開催された今年度の経営研究集会について、中澤実行委員長から御礼の挨拶、竹内

事務局員から参加状況とアンケート集計について報告がありました。くわえて出席者数名から感想等が述べられました。

②事務局員より、このたび群馬弁護士会が開設した「中小企業リーガルサポートセンターぐんま」の紹介と、二月八日～九日に兵庫で開催される「第四十八回中小企業問題全国研究集会」の案内がありました。

II. 承認事項

1. 新年度理事候補者の信任と新年度の組織機構案について
各支部・部会・委員会からの推薦をもとに理事会として理事候補者を信任しました。
また、新年度の組織機構案についても審議し、これを承認しました。

2. 入退会者承認と仲間づくりについて
前回理事会以降の入退会者はなく、会員数は五四九名変わらずとなりました。

III. 意見交換

今回は、年に一～二度行っている「近況報告会」とし、参加者全員が自社の近況や業界動向などについて報告し合いました。

IV. その他

1. 次回の理事会開催日程

第九回理事会は左記の通り第二火曜日に開催することが確認されました。

日時 一月九日(火)

十八時三十分より

会場 同友会事務所・会議室



キーパー財務18・経営羅針盤18



財務の力を経営の力に

キーパー経営羅針盤18なら、会社でも自宅でも自社の財務状況をリアルタイムに把握し、チェックすることが可能です。

同友会 高崎支部会員

株式会社 シスプラ

<http://www.syspla.co.jp/>

☎ 0120-638-377

群馬県高崎市間蔵町3-10-3 間蔵町センター第2ビル
TEL.027-363-8377 FAX.027-363-8313

アルマイト、各種メッキ、各種塗装、黒染、アッセンブリー
ダイカスト・鋳物の含浸処理をはじめました
鉄・ステンレス・アルミ・プラスチックetc...あらゆる素材に対応

上毛電化 株式会社

ISO9001認証取得 エコ・アクション21認証取得

〒375-0056 群馬県藤岡市三ツ木336-6

TEL: 0274-24-3228 FAX: 0274-24-4841

URL: <http://www.alumite.jp/> E-mail: joumou@vesta.ocn.ne.jp

営業担当: 井坂、永井 表面処理のご要望は何でもご相談ください。

これからもお客様の信頼を糧に

私たちはできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお薦めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。

私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。



JOBU PRINTING CO., LTD.

TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953

E-mail: eigyo@jp-t.co.jp URL: <http://www.jp-t.co.jp>

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25

